



チャリティーバザール会場で募金活動する奨学生OB

於：東京・代々木公園 (60.10.20)



発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
東京都千代田区内神田
2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル内
電話 03(256)1981
03(256)8394
印刷 (株)連合印刷センター
電話 03(582)8541

謹賀新年

財団法人 漁船海難遺児育英会

理事長 鈴木善幸

海難遺児と
母の文集
第3集

「父さん、大きくなったよ」

読者からの励ましの声

励ましおばさん会員

横浜市 神田雅子

今さらのように、海難事故に遇った

方々の苦しみは伝わってきます。同時に、「幸福とは何か」が、わからずに

悩み問題をかかえている多くの現代の

家族関係を考えさせられました。この

文集を読み、残された遺族が、母は子

供達の無事な成長を祈り、子供は成長

して一日も早く母を助けたいという言

葉に、家族関係の原点を見た思いがい

たします。

東京都立大島南高等学校

事務 長

神は二物を与えずと言う。

父を亡くした子供達は、別の価値を

神から与えられたかのように思われた。

それは、感謝する心、努力する心、母

をはじめとした他の人の苦勞を思いや



船員災害防止協会
前常務・漁船部長
樋田徹也

漁船海難遺児育英会設立十五周年記

念事業のひとつとして先般、発刊され

た文集「父さん、大きくなったよ」を

読ませて頂きました。この前の文集「母

さんの光る汗」を読んだときにもそう

でしたが、この文集の一篇一篇を読ん

でゆく毎に、父や夫を不慮の災害で失

った皆さんの心情が察しられて胸が一

杯になり、子供達一人一人の肩をたた

いて励ましてやりたい思いにかられま

る心であり、耐える力である。

それらの心、力を与えられたことは、

父を持つことに劣らず、一人の人間の

生涯にとって価値あることと言えるの

ではないだろうか。

誰でも、いつかは父を失うが、その

代替価値を常に得るとは限らない。小

さな作者達の輝やかしい未来が見える

ようである。

日本船員厚生協会・清水海員会館

館長 白井勝次

厳しい自然環境と、諸規制の中での

操業を余儀なくされる漁船乗組員の方

々のご苦勞に敬意を表するものであり

ます。しかし、その日々のたたかひの

蔭に、消え去ることのない海難の二字

があります。

私も、三十数年南・北と捕鯨に従事

し、海の厳しさを体験したものです。

陸の生活に入り各位の協力をいただき

ながら、今の仕事についております。

す。

それにしても、漁船の海難や事故・

災害はどうして、こうも減らないので

しょう。あの日航機墜落事件のような

特殊な例は別として、マスコミで報道

される大量遭難死亡災害のトップと云

えば先づ炭鉱であり、次は漁船の遭難

です。そのひとつひとつの出来事が世

間の人から忘れ去られる頃になってま

た、次の災害が起きる。そんなパター

ンが毎年繰り返されて、世間の人もそ

れに馴れてしまつて、『あつ、またか』

ぐらいにしか受けとっていないように、

私には思われます。そして、そのよう

な集団遭難のかけの、人眼につかない

ところで作業中海に落ちたり、漁業機

械に巻きこまれたりして亡くなるよう

な災害が、相も変わらず起こっている

ことが、この文集からも推察されます。

励ましおじさん会員

福井市 平林良寛

文集に接するのは、今回が初めてで

すが、遺族の気持ちに淡々と書かれて

いる中に、言葉では言い表せない悲し

み、苦しみがあったらうと想像され、

胸がせまる思いであります。

年月が過ぎてしまつと、つらい事は

記憶からうすれて行くように、神様は

人間に忘却を与えたということを感じ

たことがあります。完全に忘れ去る

ことはないと思います。

第四回願書

受付締切

昭和六十一年一月末日

一、新規入寮生の数は、知新寮が一

二名、東海寺学生寮は二三名です。

位かといつと陸上全産業の平均が〇・一

で、その中で最も高いのは鉱山関係の

一・二となつております。つまり、漁

船各員の死亡災害発生率は鉱山の次に

高い、ということになります。この数

は船員法適用船員のものだけなので、

同法適用外の沿岸小型漁船の災害発生

状況はつきりわかつたとなると、更

に高い数字になるのではないでしょ

うか。

この文集の中で子供達は『こんな悲

劇は自分達だけでたくさんだ。もうこ

れ以上起こさないようにして貰いたい』

と訴えております。どうか漁業者の皆

さん、この子供達の声を聞き流しにし

ないで、この願いをしつかりと受けと

めて、皆さんの家庭の幸福のために、

もっと安全を大切にして頂きたいと願

う次第です。

昨年より当日本船員厚生協会では、海
難遺児及び家族に対しての宿泊に便宜
を計ることになりました。遅きに失し
た感じですが、職員一同出来る限り
暖かく迎えたいと思つており
ます。どうぞ、ご利用ください。

た、思い出となった事は、少しほ
かされてつらさもやわらいでくるとは
思います。

多くの遺族のため、微力ながら今後
も努力をして行くつもりです。

遺族の中には、とても文を書く気
にもなれない人がいるのではないかと
思、つらい気持ちが残っております。

寮生募集のお知らせ

毎年の新年号でお知らせしています

東京周辺にある大学・専門学校等へ進

学した男子奨学生のため、本年も次の

二寮が御協力いただけます。

一、共水連「知新寮」詳細について

は、これまでの本紙新年号を参照く

ださい。現在、知新寮には三名の奨

学生が入寮しています。

一、東海寺学生寮詳細については、

六十一年の新年号を参照してください。

なお、大学・短大・専門学校在学者

に支給される生活費は、三万円、予

備校生は二万円になりました。

一、新規入寮生の数は、知新寮が一

二名、東海寺学生寮は二三名です。

(昭和60年12月末現在)

八王子市)▽永井稻秀(長崎県長崎市)凍株(江東区)
▽小野沢通(埼玉県浦和市)▽赤木由(九日以降分は次号につづきます)